

2018年8月の事件です

NBS119

2018年8月16日救急隊が患者の搬送先を探す際、**大仙市**の病院と思い込んで**秋田市**の病院に電話し、間違いに気付かないまま救急搬送するミスがあったと発表しました。大仙市の病院に搬送後に誤りが判明し、54キロ離れた秋田市の病院までさらに約1時間かけて搬送したようです。この男性は約15時間後に亡くなったようですが、消防本部は「搬送の遅れによる影響はない」との見方を示しているそうです。

消防本部によりますと、患者は大仙市の80代男性で、12日午後2時40分頃、家族から「呼吸困難になった」と119番があり、救急隊は同55分ごろに男性を救急車に収容しました。

救急隊の20代の男性消防士は市内の病院に受け入れを要請しようとしたが、誤って秋田市の病院に電話をかけて了承を得たようです。

両病院の電話番号は携帯電話に登録していましたが、これらは系列病院で名称が似ていて間違いに気付かなかったようです。

3時25分ごろ到着した大仙市の病院から「連絡を受けていない」と指摘され、携帯電話の発信履歴を確かめて間違いが判明し、直ちにその場で受け入れを求めたが応じてもらえず、秋田市の病院に着くまで通報から約**1時間45分**を要したようです。

消防本部は記者会見を開かず、今回の事案を文書で公表しています。

「現場と（秋田市の）病院到着時の容体に変化がなく、遅延による影響はなかったと医師からコメントを頂いているが、このような搬送遅延を起こし誠に申し訳ない」との談話を出しています。

この種の事案が発生するたび、「この患者さんが我が親！ わが子！ 我が女房！ だとしたら?? と思ってみるのですが.....」

